2021年3月期 第2四半期

（2020年4月～2020年9月）

決算説明資料

2020年11月6日

東洋合成工業株式会社

2021年3月期 2Q業績ハイライト

- **売上高、利益、全て増収・増益を達成。**
- 売上高は12,835百万円（前年同期比+646百万円、+5%）。
- 利益面は、営業利益1,306百万円（同+138百万円、+12%）、経常利益1,277百万円（同+212百万円、+20%）、当期純利益865百万円（同+171百万円、+25%）。

（百万円）	前期2Q 実績値	当期2Q 業績予想値	**当期2Q 実績値**	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	業績予想比 増減額	業績予想比 達成率
売上高	12,189	12,500	**12,835**	+646	+5%	+335	+3%
営業利益	1,168	1,150	**1,306**	+138	+12%	+156	+14%
経常利益	1,064	1,120	**1,277**	+212	+20%	+157	+14%
当期純利益	693	780	**865**	+171	+25%	+85	+11%
1株当たり当期純利益	87.37	98.27	**109.04**				
1株当たり中間配当金	10.00	10.00	**10.00**				
為替レート（USD）	¥108/$	¥105/$	¥106/$				

2021年3月期 2Q業績のポイント

■売上高

- ✓ 12,835百万円（前年同期比+646百万円、+5%）
- ✓ 感光材：PAG、Polymerなどの先端領域の製品の販売が増加。
  化成品：電子材料関連、香料材料関連製品が増加。
  ロジスティック事業（ケミカルタンクターミナル事業）は、
  化学品の荷動き鈍化により減少。

■営業利益

- ✓ 1,306百万円（同+138百万円、+12%）
- ✓ 千葉工場増強に伴う労務費・償却費等を吸収し、販売の増加、
  製品構成の変化（良化）などにより増益。

■経常利益

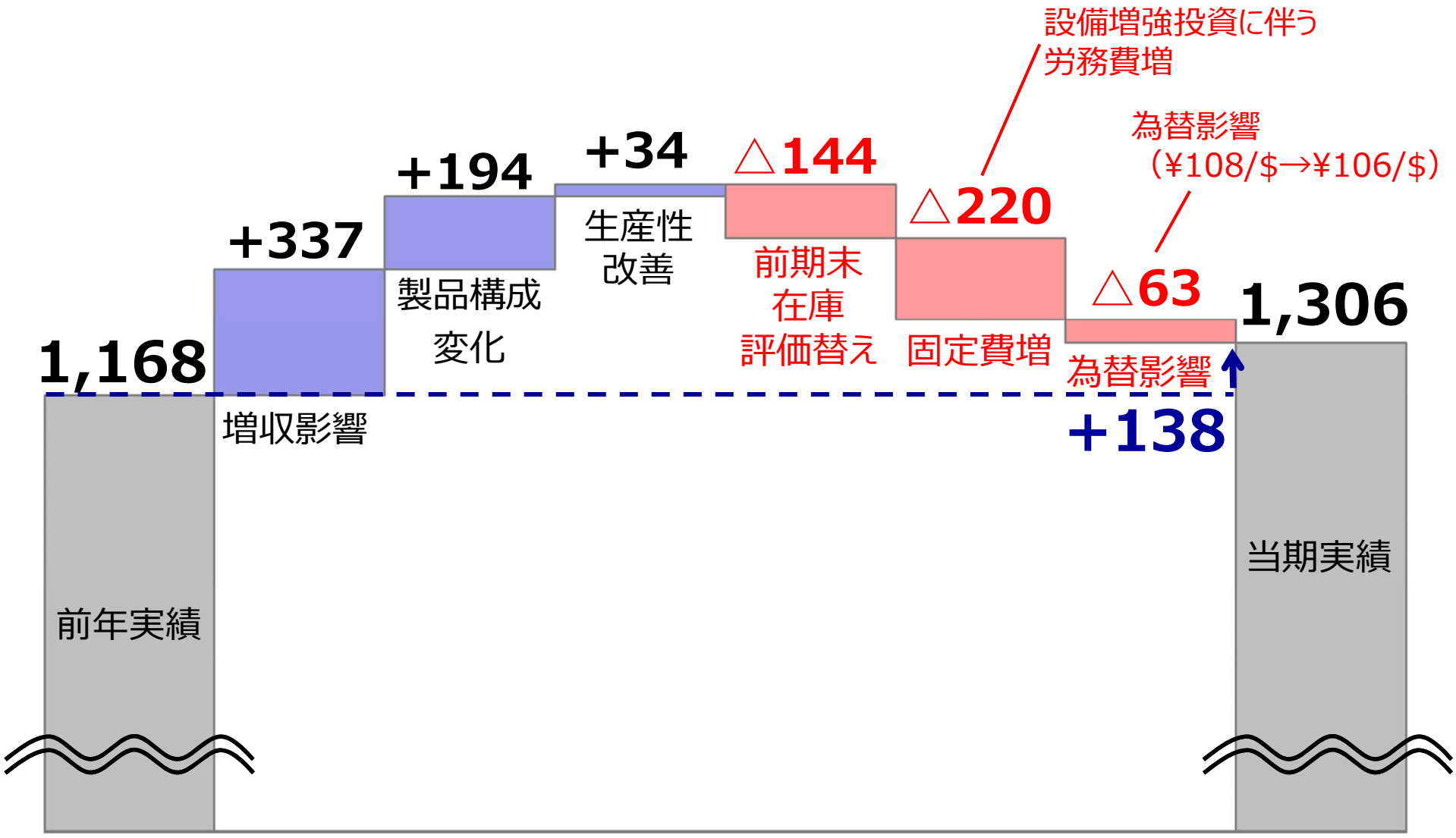
- ✓ 1,277百万円（同+212百万円、+20%）
- ✓ 営業外損益：受取保険金の発生、為替評価損により30百万円の費用発生。
- ✓ 前年比73百万円の費用減。

■当期純利益

- ✓ 865百万円（同+171百万円、+25%）

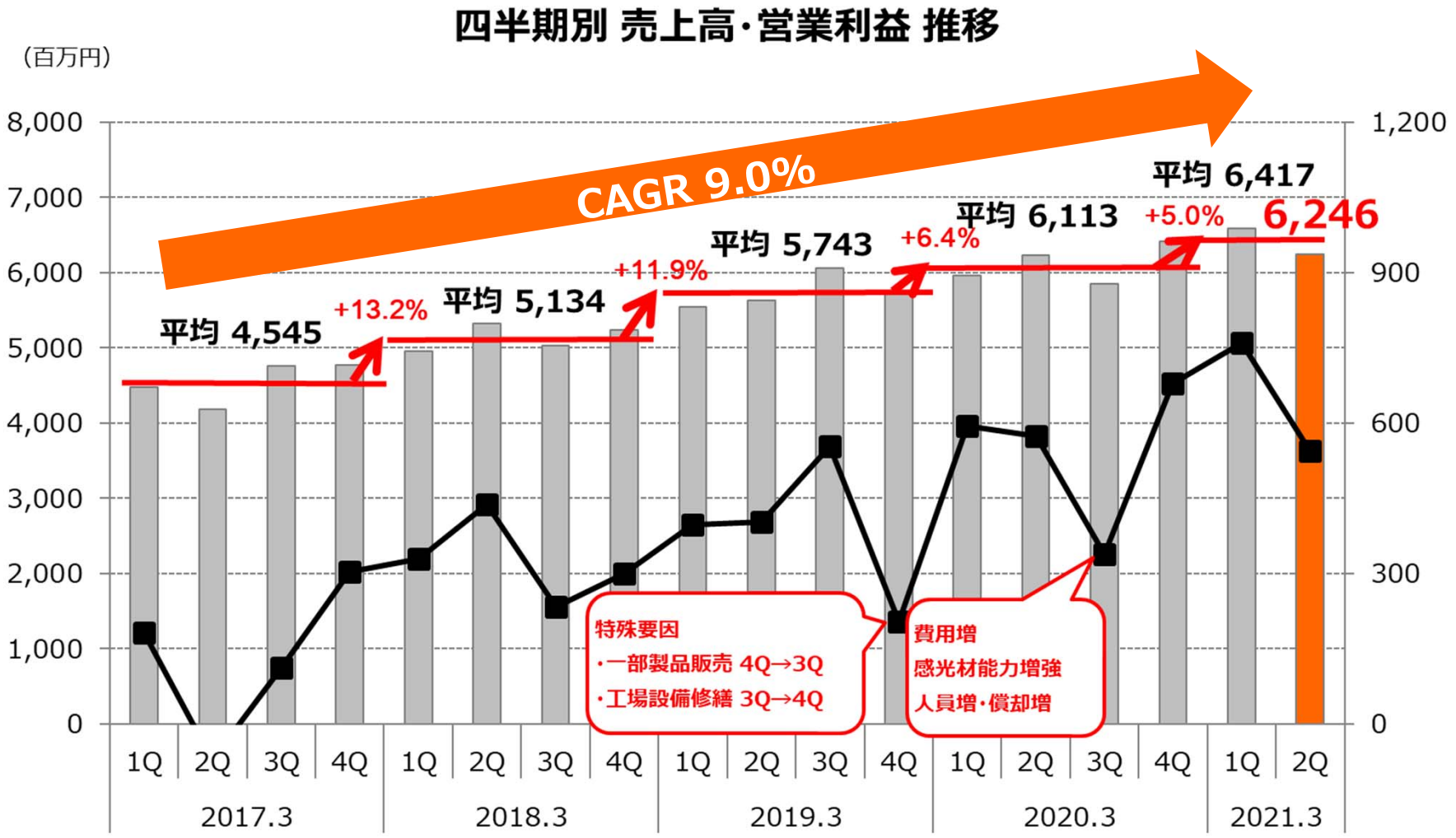
営業利益 前年比増減要因

- 成長投資の固定費増を、販売増で吸収し、増益。

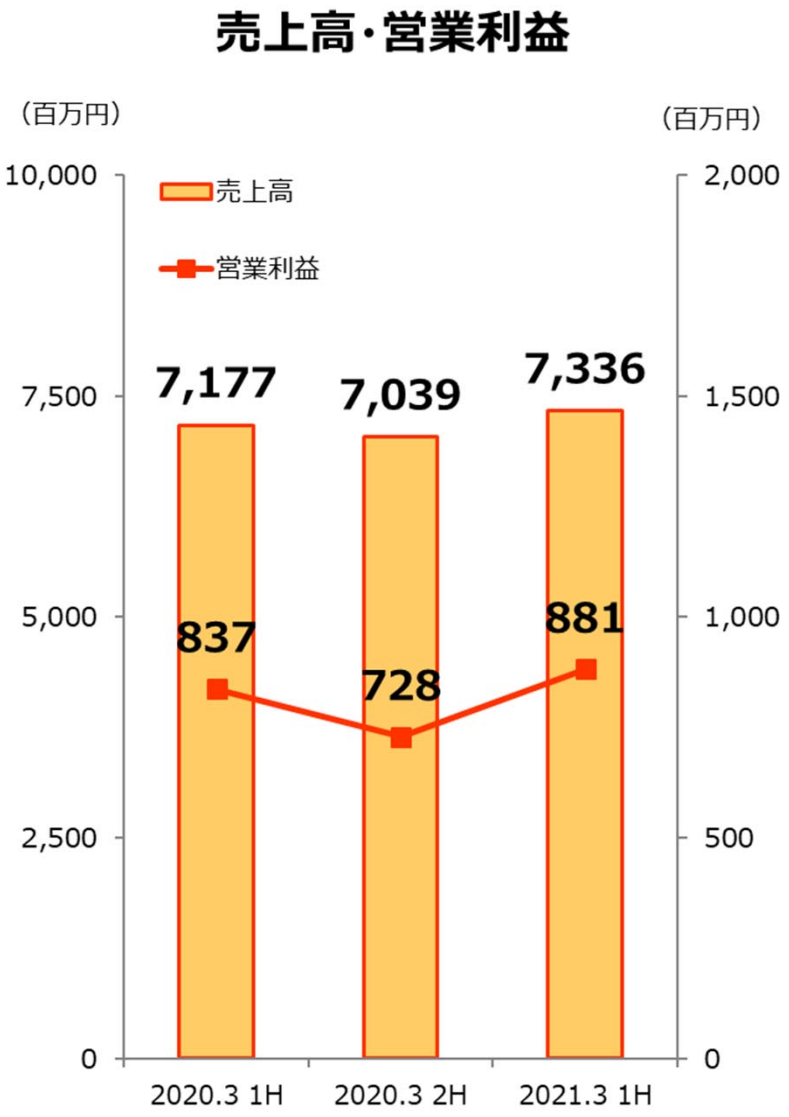


四半期別 売上高・営業利益推移

- 売上は着実に増加（CAGR9.0%）。



感光性材料セグメント



売上高：7,336百万円

（前年同期比+158百万円、+2%）

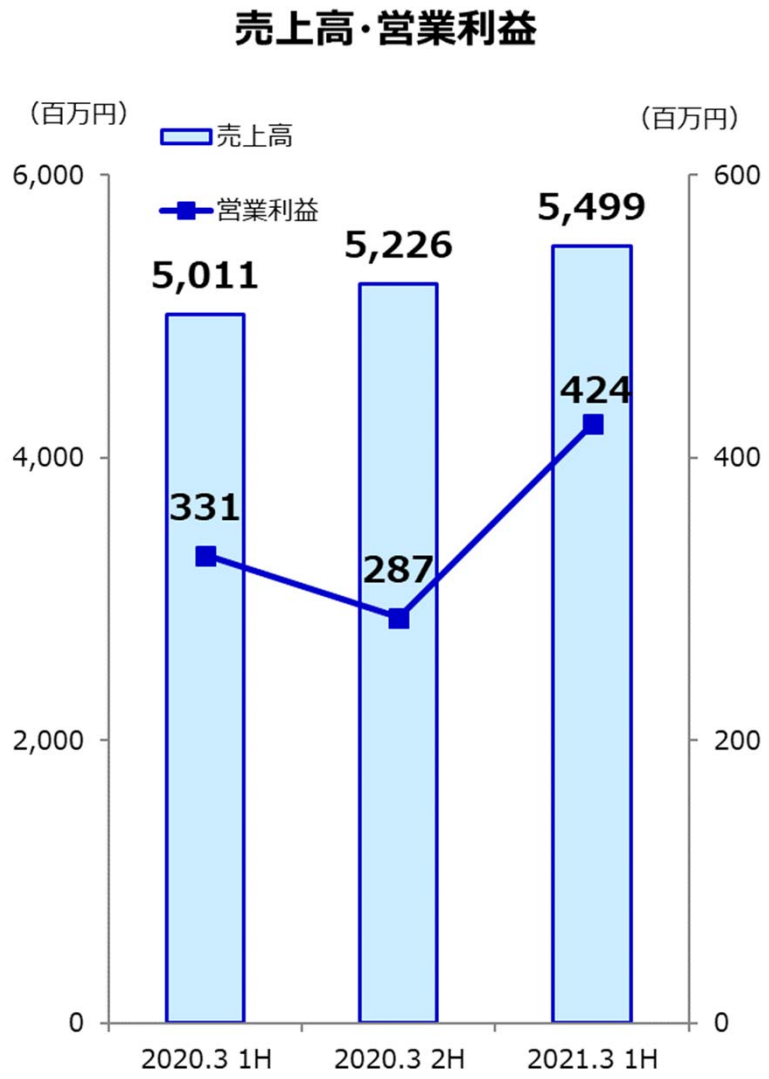
- 先端半導体(EUV、ArF)向け感光材が好調に推移。

営業利益：881百万円

（前年同期比+44百万円、+5%）

- 設備増強に伴い、労務費、減価償却費が増加したものの、高付加価値品の販売増により増益。

化成品セグメント



売上高：5,499百万円

（前年同期比+487百万円、+10%）

- 電子材料関連、香料材料関連製品が増加。
- ロジスティック事業は、化学品の荷動き鈍化により減少。

営業利益：424百万円

（前年同期比+93百万円、+28%）

- 電子材料向け高付加価値製品へのシフト加速。
- 香料材料は、販売増により増益。

2021年3月期第2四半期 損益計算書

- 売上高は、12,835百万円（+646百万円、+5%）の増収。
- 売上総利益は、設備増強などによる費用増を吸収し、高付加価値製品の販売増加により2,919百万円（+215百万円、+8%）。

（百万円）	2020.3期 2Q	**2021.3期 2Q**	増減額	増減率
売上高	12,189	**12,835**	+646	+5%
売上原価	9,485	**9,916**	+430	+5%
売上総利益	2,703	**2,919**	+215	+8%
販売管理費	1,535	**1,612**	+76	+5%
営業利益	1,168	**1,306**	+138	+12%
営業外収益	34	**69**	+35	+103%
営業外費用	137	**98**	△38	△28%
経常利益	1,064	**1,277**	+212	+20%
特別損益	△33	**△16**	+17	+51%
税引前当期純利益	1,031	**1,261**	+230	+22%
法人税等合計	337	**396**	△58	+17%
当期純利益	693	**865**	+171	+25%

[売上総利益 +215]
高付加価値製品が増加し、売上総利益率が改善（22.2%→22.7%）

[営業外収益 +35
営業外費用 △38]
受取保険金 35、為替差損 29

2021年3月期第2四半期 キャッシュフロー計算書

- 営業CF：2,165百万円（+519百万円、+32%）　販売増加による収益増、及び運転資金改善も寄与。
- 投資CF：△4,729百万円　感光材設備増強投資の実行により支出増加。
- 財務CF：2,711百万円　設備投資資金の確保。

	2020.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減額
営業活動によるCF	**1,645**	**2,165**	**+519**
税金等調整前純利益	1,031	1,261	+230
減価償却費	1,063	1,087	+24
売掛債権の増減額（+は減少）	64	581	+517
棚卸資産の増減額（+は減少）	△340	△507	△167
仕入債務の増減額（+は増加）	△344	356	+700
その他	172	△613	△785
投資活動によるCF	**△3,293**	**△4,729**	**△1,436**
フリー・キャッシュフロー	**△1,647**	**△2,564**	**△916**
財務活動によるCF	**△499**	**2,711**	**+3,211**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△30**	**△16**	**+13**
現金及び現金同等物の増減	**△2,177**	**130**	**+2,308**
現金及び現金同等物の期末残高	**2,822**	**3,301**	**+478**

← 運転資金を改善

［投資CF　△4,729］
感光材の設備投資の実行により、支出増

2021年3月期第2四半期 貸借対照表

- 株主資本は、当期純利益の増加により、785百万円の増加。自己資本比率27.7%（+0.7pt）
- 感光材の先行設備投資により、有形固定資産+1,227百万円、有利子負債は+2,856百万円。

（百万円）	2020.3末	2021.9末	増減額
流動資産	**15,503**	**16,011**	**+508**
現金預金	3,582	3,713	+130
売上債権	4,654	4,073	△581
棚卸資産	7,019	7,527	+507
その他	246	697	+451
固定資産	**23,627**	**24,996**	**+1,369**
有形固定資産	22,112	23,340	+1,227
無形固定資産	407	484	+77
投資・その他	1,107	1,171	+64
資産合計	**39,130**	**41,008**	**+1,878**
負債	**28,561**	**29,640**	**+1,079**
仕入債務	3,000	3,356	+356
有利子負債	18,188	21,044	+2,856
その他	7,372	5,238	△2,133
純資産	**10,569**	**11,368**	**+798**
株主資本	10,563	11,349	+785
評価・換算差額等	5	18	+12
負債・純資産合計	**39,130**	**41,008**	**+1,878**

［有形固定資産+1,227］
［有利子負債+2,856］
感光材の設備能力増強投資により増加

［自己資本比率］
27.7%（前期末比+0.7pt）

2021年3月期

業績見通し

2021年3月期　業績予想

- 先端半導体向け（感光材・化成品）を中心に販売増加を見込む。
- 各利益ともに業績予想に対し、順調に進捗。
- 固定費は通期で前期比8億円増加、下期は上期比約5億円増加見込み。
- 想定為替レートは ¥105/$。1株当たり配当金額は、年間20円から変更なし。

（百万円）	2021.3 業績予想	**2020.9 実績**	進捗率
売上高	25,000	**12,835**	51%
営業利益	1,950	**1,306**	67%
経常利益	1,870	**1,277**	68%
当期純利益	1,260	**865**	69%
1株当たり当期純利益	158.75	**109.04**	
為替レート（USD）	¥105/$	**¥106/$**	

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

（見通しに関する注意事項）
本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。